

令和4年度 奈良保育学院自己評価報告書の概要

1. 教育目標

- 本学園の建学精神である「敬身・敬学・敬事」の三敬銘を教育信条として、豊かな心と自立できる力を育み、社会の要請に応えうる人材の育成を目標としている。
- 現場で求められる専門性の高い幼児教育者及び児童福祉従事者として活躍できるように、より専門的な理論を身につけ、実践的な技術を習得できるような人材を養成することを目標とする。
- 人材育成目標達成のために、高い専門性と、自ら学び・考え・解決する能力を備えた、バランスのとれた専門家を養成することを目標とする。
- 学年担当制による一人一人への密な関わりを通して、個々の能力や個性に合わせた教育及び指導を実践することを目標とする。
- 2年間の学びを経て、全員が幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得し、かつ全員が就職することを目標とする。

2. 本年度の重点目標と計画

- **卒業学年全員の幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得並びに関係分野への就職**
 - ・学外実習の事前事後指導、進路及び学年担当教員による適時の学生への関わり、専任全教員の情報共有、様々な教育活動等を通して、学生の就職に関する意識の向上を図る。
 - ・幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得率100%と関係分野への就職率100%を目指す。
- **第三者評価を受審し、職業実践専門課程認定校として更に充実した教育活動の推進**
 - ・第三者評価を受審することにより、学校運営・教育活動の質・水準・内容を明確にするとともに、教育の質の保証・向上を図る。
 - ・平成26度より実施している学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会を引き続き開催し、教育課程の改善及び学校運営力の向上を図る。
- **実践力の向上に向けた保育学院と系列幼稚園・保育園との連携推進**
 - ・子どもを取り巻く環境が変化する中で、保育ニーズは多様化、複雑化しており、豊かな人間性と実践力、応用力を身に付けた資質能力の高い学生の育成を目指す。
 - ・学園内に幼稚園、保育園（こども園は、令和5年4月1日から開園）といった機能の違う2つの園をもつ本校の特色を生かして、子どもに直接触れ合う中で学ぶ。
- **ICTを活用した学生指導、授業展開の推進**
 - ・幼稚園教諭養成課程の科目では、ICT機器の活用が求められており、授業計画にICT機器の利用を取り入れ、ICT機器への習熟を図る。
 - ・新しい学生管理システムを導入し、学生指導に活用し円滑な単位取得を目指す。
 - ・新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて、オンライン授業やハイブリッド型授業を展開し、学生の授業保障を図る。

○ 学生に対する各種支援活動（中途退学者防止や就職支援活動等）の推進

- ・教員が、学生の「生活不適応・修学意欲低下」や「学力不振」、「心身耗弱」、「経済的困窮」等の状況を早期に的確に把握し、相談・支援を行い中途退学や休学の未然防止に努める。
- ・卒業後の早期離職者が出現しないよう、在学中に個々の適性に応じたきめ細かな就職指導を行う。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況の概要

○評価の各項目について、以下の基準で評価した。評価項目および評価基準は、文部科学省が策定・公表した「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠して制定された「専門学校等評価基準書 Ver4.0」を用いた。

※評語の意味（4段階評価）

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

NA・・・該当せず（No Answer）

（1）教育理念・目的・育成人材像等 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
理念・目的・育成人材像	理念・目的・育成人材像は、定められているか。	4
	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか。	4
	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。	4
	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	4

【本項目の詳細及び改善点等】

- ・学校法人白藤学園の建学の精神「敬身・敬学・敬事」に基づき、人格的・知的・情緒的に優れた幼児教育者及び児童福祉従事者を養成することを目指している。そのために、開講科目の70%以上を演習・実習科目として設定し、必要な専門的知識と技能を在学期間の2年間で習得する。以上の事項は、学則、学生便覧、学校案内パンフレット等各種広報誌、公式 web サイトに記載している他、各期オリエンテーション、進学相談会、オープンキャンパス等で説明し、学内外への周知をはかるとともに、教職員や法人役員にも公表している。
- ・教育目標を達成するため、少人数制による教育や、幼稚園・保育所・こども園・福祉施設との連携を密にした実習指導、学外ホールにおける演目発表、地域との関係性を重視したボランティア活動などを通して、学生が常に目標を持って活動できるような実践的な取り組みを実施している。
- ・令和4年度卒業生は、卒業資格100%、幼稚園教諭二種免許状取得率100%、保育士資格取得率100%、両免許資格取得者による関係職就職希望者の就職率96%であった。資格取得率

や就職率100%を目指すことは大前提であるが、現代社会の多様性の現状から鑑みると本人の適性に合った分野の仕事に就くことができるよう、きめ細かな就職指導をしていく。

- ・教育・保育・福祉の現場で望まれる学生像については、学生便覧に掲載し、各期オリエンテーションや実習・就職指導等の機会に学生へ指導している。

(2) 学 校 運 営 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
運営方針	理念等に沿った運営方針を定めているか	4
事業計画	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4
運営組織	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
	学校運営のための組織を整備しているか	4
人事・給与制度	人事・給与に関する制度を整備しているか	4
意思決定システム	意思決定システムを整備しているか	4
情報システム	情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	4

【本項目の詳細及び改善点等】

- ・学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は、明確に定められており、教職員にも明示している。また、諸規程も整備し、必要に応じて改定等を行っている。
- ・運営組織や意思決定機能は、学園運営組織表・校務分掌で定めており、組織の構成員・職務分掌と責任を明確にしている。
- ・領域に対応出来る教員の確保については、設置基準等の定めるところを遵守し、必要人員を配置している。処遇等については、「目標管理制度」を実施し、その結果に基づき人事考課を行っている。人事考課の結果は、翌年度の賞与支給に反映させている。
- ・教職員一人一人が校務用 PC を持ち、事務の効率化につなげている。
- ・コロナ禍以降、遠隔授業を行うための環境を充実させている。
- ・効率的な学生管理を行うため、学生管理システムとして BLEND を導入している。
- ・学園内の施設予約・管理・他部署との情報共有と確認作業が適時行えるシステムを導入し、業務の効率化に繋げている。また、Wi-Fi 環境の充実を図り、講義にインターネット環境を使用する場合もスムーズに指導が出来ている。
- ・幼児教育者養成校なので、できる限り実践力を身に付けるため対面授業を基本とし、感染防止を意識した環境で講義を行っている。また Zoom 等を利用しての授業展開を行ったり課題提示及び提出にも ICT を活用したりするようにしている。
- ・今後も、人との関り、いわゆるコミュニケーション力育成が大切であり、実践力を身に付けるための授業も工夫して行っていく。

(3) 教 育 活 動 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
目標の設定	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4

	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
教育方法・評価等	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
	教育課程について外部の意見を反映しているか	4
	キャリア教育を実施しているか	4
	授業評価を実施しているか	4
成績評価・単位認定等	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4
資格・免許の取得の指導体制	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
	資格・免許取得の指導体制はあるか	4
教員・教員組織	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4
	教員の資質向上への取組みを行っているか	4
	教員の組織体制を整備しているか	4

【本項目の詳細及び改善点等】

- ・教育目標・育成人材像は、明確かつ十分な内容で定められている。
- ・カリキュラムは、文部科学省及び厚生労働省の通知に基づき目標達成に向け体系的に編成されており、各科目は監督官庁のシラバスモデルに基づき適正な位置づけがなされている。また、目標とする免許資格取得を支援する教育内容となっており、学年担当制によるきめ細やかな指導を実施している。
- ・授業を客観的に評価・分析することを目的として学生による授業評価アンケート（Web）を実施している。アンケートの集計結果は各教科担当教員へ報告し、授業改善を促すとともに、学校関係者評価委員会においても報告している。
- ・成績評価・単位認定の基準は明確であり、学則およびシラバスに明記している。
- ・教員の専門性レベルは監督官庁の資格審査に合格しており、育成目標に向けた授業を行うことができる要件を備えた教員を確保している。更なる専門性、授業力、校務執行力向上のため、学会・研究会・研修会への参加や研究紀要の執筆を奨励している。
- ・実習後、学生がどのような力を身に付けたのか、何を学んだのか、といった事後の振り返りを校内で終わらせるのではなく、何らかの方法で、実習先へも返していくことも連携としては大切である。実習園と学校が事後の連携をしていくことで、「顔の見える関係」をつくり、実習指導上の具体的な成果を上げていくことに繋げていく。

(4) 学 修 成 果 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
就職率	就職率の向上が図られているか	4
資格・免許の取得率	資格・免許取得率の向上が図られているか	4
卒業生の社会的評価	卒業生の社会的評価を把握しているか	4

【本項目の詳細及び改善点等】

- ・幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格に関しては、取得率の向上に努めており、取得者数とその推移に関する情報は明確に把握している。
- ・令和4年度卒業生は、全員が卒業資格を有し、幼稚園教諭二種免許取得率・保育士資格取得率共に、100%であった。また、関係職への就職希望者の就職率は、100%である。
- ・就職率については、その推移に関する情報を明確に把握しており、次年度以降は、データベース化にも取り組んでいきたい。
- ・担任制をとり、学年担当が個々の学生の相談及び指導にあたっている。各授業の様子や欠課時数については教務を中心に、常勤・非常勤すべての教員間で共有し、連絡を密にとる体制を整えている。
- ・保育・教育実習、法人内の園行事でのボランティア活動等を通じて、教育・保育・福祉の現場からの学生に関する評価を把握している。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により学外ボランティア活動が十分実施出来なかったが、今後、コロナ禍の法的な分類が変更されるに伴い、学生の学内外でのボランティア活動等について、積極的な活動支援を行っていきたい。

(5) 学 生 支 援 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
就職等進路	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
中途退学への対応	退学率の低減が図られているか	4
学生相談	学生相談に関する体制を整備しているか	4
	留学生に対する相談体制を整備しているか	NA
学生生活	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
	学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	NA
	課外活動に対する支援体制を整備しているか	3
保護者との連携	保護者との連携体制を構築しているか	4
卒業生・社会人	卒業生への支援体制を整備しているか	4
	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	NA
	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4

【本項目の詳細及び改善点等】

- ・学生の就職・進学指導に関する体制を整備し、就職・成績・生活面等、随時個人面談を実施し必要に応じては、保護者にも連絡・面談を実施している。
- ・保護者会として「三友会」を組織しており、定期的に総会及び役員会を開催している。
- ・学費に関する支援体制は、奨学金制度、学費分納制度、緊急時貸与制度を整備している。奨学金制度は、日本学生支援機構を利用している。
- ・学生の健康管理体制は、学園共有の保健室に養護教諭が常駐しており、学院の教員と連携しながら対応している。学院内にも簡易なベッドを準備し、短時間の安静で快復できる場合は教員等が付き添いながら健康観察を行っている。

- ・さらに、少人数を生かして、個々の学生の体調管理には常に気を付けるようにしている。顔色が優れなかったり、高熱や風症状がみられたりした場合は、早めに声掛けを行い、大事に至らないように教員間で情報共有も行っている。
- ・学生の課外活動は学生の自主性に任せており、課外活動の規定を学生便覧に明記し、自治会担当教員と連携しながら活動を支援している。
- ・卒業生への支援体制は、同窓会組織があり、定期的に総会や役員会を開催している。
- ・教員と学生は、グーグルクラスルームを活用して繋がり、授業の時間中だけでなく、課題の提示や提出、日々の学生への連絡等にも活用している。
- ・Zoom を使ったリアルタイム配信を充実させ、施設実習前のオリエンテーションや就職説明会（先方の指示による）、授業をオンラインで行うなど、学生が効果的な活動をできるように支援している。
- ・体調を崩して欠席が長期に続いたり無断欠席が続いたりした場合は、担任から本人や家族に連絡を取り安否確認をするようにし、特に一人暮らしの学生の支援をきめ細かに行うようにしている。

(6) 教育環境 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
施設・設備等	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4
学外実習、インターンシップ等	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4
防災・安全管理	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4
	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4

【本項目の詳細及び改善点等】

- ・施設・設備は全校舎とも耐震基準を満たしており、適切にメンテナンスも実施している。セキュリティ管理は、監視カメラの設置、警備保障との契約、通用口の施錠、侵入防止扉等を設置している。今後も安全管理に関する意識向上に努め、危険及び事故防止に努めていく。
- ・大規模地震に対応した消防防災訓練実施マニュアルを学園として作成しており、学園防災避難訓練を定期的に行い、危険物等の管理も徹底している。防災備蓄については、定期的に補充・管理しており、災害への備えを万全にすべく現在も態勢を整えている。
- ・実習に関しては、学外の関係機関と連携して十分な教育体制を整備しており、事前事後指導を徹底し、指導にあたっている。
- ・令和4年10月末に学院同窓会からも援助をいただき、学生の机と椅子を長年使用してきた旧 JIS 規格から新 JIS 規格の物にすべて入替を行い学生もゆったりと学びに向かう環境を整えた。
- ・学生による自主的な清掃だけでなく、事業者等による床磨き等のメンテナンスを行い、清潔な環境で学習に取り組めるようにしている。

- ・本学の幼稚園への教育実習が2回生の6月と10月実施という非常に遅い時期の実習となっていることから、早期に就職活動を開始するため、1回生の11月と2回生の6月に幼稚園への教育実習を行うようカリキュラムを変更していく。
- ・授業回数については、教務が工夫をして規定時間数を確保している。
- ・リカレントで入学した社会人や子育てとの両立中の学生もいることから、学生への負担ができるだけ少なくなるよう配慮した時間割を組むようにしていく。

(7) 学生の募集と受入れ [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
学生募集活動	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	4
	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4
入学選考	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
学納金	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4

【本項目の詳細及び改善点等】

- ・学生募集活動は日程調整を重ね、次年度の入学者獲得に向けて広報活動を継続している。学校案内は志願者や保護者の立場を考慮した内容となっており、問合せや相談への対応は、広報担当教員が適切に行っている。
- ・入学者選考は公平性を保つために全教職員が関わり、筆記試験及び面接の結果を踏まえて総合判定している。志願者数は年度による増減が見込まれるため、少子化や大学・短大志向の影響・高等教育無償化を考慮し、高校訪問の回数・進路相談会等への参加を強化している。
- ・昨年度導入を開始した総合型選抜（AO）を今年度も実施した。
- ・学納金は、他の大学・短期大学・専門学校と比べて安価であり、学生・保護者の負担は少ない。
- ・社会人経験者は学生間でリーダーシップをとり学生と良好な関係を築こうとしている。
- ・進学情報媒体の内容等について、応募実績を検討の上、本学の特徴である就職実績、実習指導、学生との関わり等を積極的にアピールして学生募集に繋げていきたい。
- ・奈良県の雇用政策課の職業訓練の委託事業を受託した。今年の4月入校に向けて準備を進めているところである。

(8) 財 務 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
財務基盤	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4
	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4

予算・収支計画	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
監査	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
財務情報の公開	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4

【本項目の詳細及び改善点等】

- ・財務基盤は必ずしも安定しているとはいえない状況であり、学園全体の財政基盤を確立させるため、引き続き学生の定数を確保していく必要がある。
- ・入学者数により学園全体の財政に影響が出るため、定員確保に向けてHPを刷新し、情報を具体的にわかりやすく発信していく等、今までの方法をさらに見直し、さらに効果的な広報活動をしていく。
- ・年度予算は、教育の充実と費用効果等を勘案し、適切に編成および執行している。
- ・会計監査人及び監事の監査は、定期的かつ適切に行うようにしている。
- ・財務状況の公開については、学園HPにて公開しており、その他必要に応じて開示している。

(9) 法令等の遵守 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
関係法令、設置基準等の遵守	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
個人情報保護	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
学校評価	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
	自己評価結果を公表しているか	4
	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
	学校関係者評価結果を公表しているか	4
教育情報の公開	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4

【本項目の詳細及び改善点等】

- ・法令や設置基準は遵守している。
- ・学校が保有する個人情報に関する保護対策及び教職員への周知徹底を行っている。
- ・学生に対しては、SNSの使用について、入学時に学生へ同意確認を採っている。実習前には、オリエンテーション及び事前指導において、指導を徹底している。特に学外関係機関で知り得た情報を意図の有無に関わらず流出させた場合には、懲戒処分に値する旨を学生便覧へ追記し、その重大さと守秘義務を伝えている。
- ・学園共通の職場におけるハラスメント防止に関する指針を策定し、相談マニュアルを作成している。
- ・自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めている。学校関係者評価委員会にて

評価を実施し、評価結果概要及び報告書を毎年 HP 上で公開している。

- ・授業時数は教務が確実に調整を行っている。また、資格取得においても法を遵守しながら申請したり、前年度の文科省の指導によるコアカリキュラムの編成を再考したりするなど、教員養成校として文部科学省の基準を守っている。
- ・学校は、SARTRAS に補償金を支払い著作権の保護に抵触しないように対応している。

(10) 社会貢献・地域貢献 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
社会貢献・地域貢献	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
	国際交流に取り組んでいるか	NA
ボランティア活動	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3

【本項目の詳細及び改善点等】

- ・子育て支援センターや地域の催し参加、出張公演等ボランティア活動の積極的な参加を促進、奨励しているが、今年度までは、コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動に制限をかけなければならないことも多かった。今後は、学校が社会への情報発信や地域活動の拠点としての役割も担っていることを認識し、計画的に活動に取り組んでいく。
- ・学園全体として環境問題への啓蒙活動を実施している。今年度は、学園周りの花壇の花植えや幼稚園、保育園の花植えを学生が園児と一緒にやり水やり等も当番制にして、学生が継続的に取り組んだ。
- ・大規模災害時の二次避難場所として学園の敷地を提供している。学校現場は、学生の教育や養成だけでなく、社会への情報発信、地域活動の拠点としての役割を担っていることを再確認し、今後も広く社会に貢献した活動に取り組んでいく。